

★漢方あれこれ★

我が闘病記①

◆がん10年相対生存率◆

太田 順康

全国がんセンター協議会から、10年の相対生存率が発表されました。私の場合は胃がん（ステージ4）7%、肺がん（ステージ1）28.6%だそうです。

また胃がん手術後、家族たちには1年間の生存率は10%だと告げられていたそうです。それが7年経過しましたが、まだこの世にいます。仏さまになるにはまだ修行が足りないようです。

そこで私の闘病記を発表して、なぜステージ4の胃がんや肺がんになったか、術後の対応はどうしたかを述べて皆様の参考になればと考えています。

1938年2月生まれの私は、70才になるまで医療も受けず、すべて漢方薬で自分の病気を治してきましたが、自己負担1割になってから胃がんで医療を受けることになりました。

なぜ癌が出来たのか、癌発見までの状態

- ・漢方家にあるまじき不摂生。
- ①偏食 野菜嫌い、魚嫌い、甘好き。
- ②夜型生活 就寝2時～3時、起床9時～10時。
- ③喫煙 18歳～60歳 約40年 1日20本以上。
- ④甘いものの食べ過ぎで胃腸虚弱で疲れやすく集中力不足。免疫力も落ちていたか？

- ・漢方家の落ちりやすい、自己診断と自信過剰

2002年、健康診断にて「胃」「肝臓」の精密検査が必要と指摘を受けた、前日の夕食が胃に残っていた。胃が重く、消化を促進する漢方薬を服用。ゲップが出ると胃がスッキリするので、胃に空気を送り込み、ゲップをするようになる。「呑気症」。その結果放屁が多くなり、家庭内別居となる。

2004年、右脚静脈瘤炎で激痛、歩行困難となる。肝臓への静脈の流れが悪くなったためと思われる。

2005年、食事が少しづつしか食べられない、アンパン1個位。5千歩以上歩くと、脚が痙攣する。体重は55kg、（過去最高体重）ウェスト86、実際は浮腫と腹水のため。肥えたと勘違いしていた？

2008年、幽門通過障害が酷くなり、暮食朝吐（前の晩の食事が消化されずそのまま朝吐く）になり、食事が通らなくなった。急激に手足が重だるく無力状態になり、消化吸収が出来なくなり、栄養失調で低アルブミン症に



曜日と時間：毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<3月の予定>

3日(金) 10日(金) 17日(金)

24日(金) 31日(金)

今年の3月は、日にちと曜日が2月と同じ。でも日数が3日多いから、ちょっとゆったりです。2月は寒かったり暖かかったり、寒暖の差が大きかったのですが、雪が降ることもなく、日差しは春。このまま春に向かいそうです。

草花や木々の移ろいを感じながら、元気に歩きましょう。



§ 漢方相談日

（担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師）
今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

6日(月) 13日(月) 27日(月)

§ 3月の休診日

20日(月・春分の日)

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

なりむくみが強く出て来た。近所の医院で幽門付近に癌があるようだと言われ胃カメラ診断を受け胃癌を発見、即入院。栄養失調改善のための点滴20日で手術可能となり2/3切除。本人はステージ1と思っていたが、実際は4だった。抗がん剤服用で全身に発疹、皮膚掻痒、色素沈着。今でも続いている。

2009年、転移の有無のCT検査で肺癌（扁平上皮癌）を発見。左下葉を摘出。抗がん剤の服用は断る。

以後の養生は次回で。

(つづく)